



東陽病院 鈴木健士 医師

光町のみなさんこんにちは、今回は前回に引き続き胃ガンについてお話ししたいと思います。

もし胃ガンが見つかった場合、どのような治療が最も有効なのでしょうか。これはその胃ガンの状態によつても違うと思いますが、早期胃ガンであれば手術でしょう。その中でも1~2cm程度の小さなものであれば、胃カメラで切除出来るものもあります。早期胃ガンに限れば、きちんと治療すれば95%以上治すことが出来ると言報告されています。手術は誰だってこわいでしょし、出来れば避けて通りたいものです。

高齢であればそれはなおさらでしょう。しかし手術や麻酔の技術もどんどん進歩していますし、我々医者も患者さんの状態をよく考慮して、冒険のような手術はしないよう努めています。ただこわいというイメージだけで逃げてしまわずに、手術による危険、手術後に起こるかもしれない合併症と、手術しなかつた場合に病気に対しどういう治療をしてどういう経過になるのかをよく見比べて判断して下さい。

さて、では手術しないとなつた場合どういう治療をするかですが、先程お話しした胃カメラで切除出来ればいいのですが、大きかつたりでそれも出来ない場

合はなかなか難題です。ガンに対する治療としては、抗癌剤や放射線治療がありますが、胃ガンにはなかなか効きずらいと言わざるを得ません。正直なところ「効果がある場合がある」といった程度でしょう。やはり手術の治療成績と比べればそこには大きな差があるのは事実です。現在のところ手術は、一番確実な治療法であることは異論のないところだと言えると思います。

同じ胃ガンでも進行ガンの場合はどうでしょうか。もしガンが他の臓器に転移をしていない場合には、やはり手術が最も効果的だと思いません。しかしその治療成績は、早期胃ガンに比べますとやはり見劣りがします。もしガンが他臓器に転移している場合には、手術は難しい状態であると言えます。治療法の選択にも効果の不確かな抗癌剤などしかないのが実情です。副作用のことを考えて不確かな治療は行わず、痛みなどの症状をとる治療を行う方が良いケースも多いかと思います。

ただガンという病気をやつづけることだけを考えず、患者さんの状態をよく考慮した上で、治療法を決めることが重要かと思います。

どんな病気の治療にも、その方法による治療効果と、それによって生じる危険があります。それは手術だけでなく飲み薬なども同じなのです。その両面をよく理解してよりよい治療法を選ぶようにして下さい。

健康への

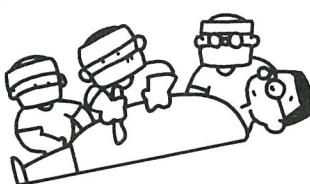
メツセージ

シリーズ⑯

胃ガンの話

治療法について

手術は一番確実な治療法



暮らしのワントピア

健康飲料として、さまざまなお茶が販売されています。しかし、なによりの健康茶として改めて見直されているのは、私たち日本人に最もなじみ深い

静岡県のがん死亡率は全国に比べて低く、特に県内有数の生産地域では胃がんによる死亡率が全国平均の四分の一程度というデータもあります。もちろん、これら効用はすぐに現れるものではありません。また、大きな効果を期待するあまり、無理にたくさん飲んで、それを長続きさせることはできません。

昔から「お茶屋さんは風邪をひかない」といわれています。緑茶には風邪や動脈硬化の予防に役立つビタミンCをはじめ、各種のビタミンが含まれているためです。また、フッ素化合物が豊富なため、虫歯の予防にも役立ちます。お茶で口をすいだり、うがいをしたりすることは、マナーの上ではほしたない行為とされていますが、実は虫歯や口臭の防止には十分に意味のあることなのです。

緑茶の効用

さらに、細胞の突然変異を抑制する作用があるため、がんの発生防止に効果があると考えられています。お茶の生産で知られる静岡県のがん死亡率は全国に比べて低く、特に県内有数の生産地域では胃がんによる死亡率が全国平均の四分の一程度というデータもあります。

エンザなどウイルス感染の防止のほか、高血圧、心臓病などの成人病を予防する働きがあるのです。さらに、細胞の突然変異を抑制する作用があるため、がんの発生防止に効果があると考えられています。お茶の生産で知られる静岡県のがん死亡率は全国に比べて低く、特に県内有数の生産地域では胃がんによる死亡率が全国平均の四分の一程度とい

風邪から 成人病予防まで



みに合わせ、香りと味を楽しみながら、緑茶の飲用を習慣づけることが大切です。